



2019年8月14日

各 位

会 社 名 インパクトホールディングス株式会社
代 表 者 代表取締役社長 福井 康夫
(コード番号：6067 東証マザーズ)
問 合 せ 先 代表取締役副社長 寒河江 清人
(TEL：03-5464-8321)

2019年12月期第2四半期報告書の提出期限延長に関する承認申請書提出についてのお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15の2第1項に規定する四半期報告書の提出期限延長に関する承認申請書の提出を行うことといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 対象となる四半期報告書

2019年12月期第2四半期報告書

2. 延長前の提出期限

2019年8月14日

3. 延長が承認された場合の提出期限

2019年9月13日

4. 提出期限の延長を必要とする理由

インドにおいて、Coffee day Enterprises Limited (以下CDEL) 社創業者の死去及びそれを端にする同社グループ財務状況の不透明な状況の可能性が報道されております。当社は、CDELの子会社であるCoffee Day Global Limited (以下CDGL) に対する貸付債権1,000万米ドル(約11億円)及びCoffee Day Consultancy Services Private Limited (以下CDCSPL) に対する関係会社出資1,500万米ドル(約17億円)を有しておりますが、上述の報道に伴い、東陽監査法人より現時点においては貸付債権及び関係会社出資に対して評価減を計上するか否かを判断するための十分な心証を得られていないため、貸付債権及び出資先の財務状況を確認するための追加のレビュー手続が必要であるといわれております。

そのような状況下、当社にて第2四半期決算を行なうにあたり、資産に計上しているCDGLへの貸付金についてその回収可能性を評価するため、CDGLの財務状況を確認すべく、CDGLに対して直近期の決算の開示を8月1日に求めました。しかし、シッダールタ氏は生前個人で巨額の負債を抱えており、負債の返済のために企業の資産を流用していたという疑いが生じたため、ボンベイ証券取引所より指定されたアーストアンドヤングが8月1日から8月31日までに調査することになりました。調査対象といたしましては、CDGLの過去3年分及びCDCSPLの直近期の財務諸表であり、その調査が終了し、正確な財務情報が確定するまではCDGLの親会社であるCDELの財務責任者よりCDELは上場企業として、外部に財務情報を一切開示できないとの回答があり、開示を8月2日に拒否されました。その後、CDELの財務責任者とは8月8日までの間に計5回の交渉を重ね、決算の開示を求めましたが残念ながら応じてもらうことはできませんでした。

東陽監査法人が当社の債権及び出資先の評価に必要な正確な財務情報を入手できるのは当社がアーストアンドヤングの中間報告の結果を8月23日に受けた後、当社内での確認作業終了後の8月末日で、その後、東陽監査法人の監査に2週間程度を要するため、金融商品取引法第24条の4の7第1項の提出期限である8月14日までに当第2四半期報告書の提出は困難であるとの判断に至り、提出期限を2019年9月13日とした提出期限延長の承認申請を行うことといたしました。

5. 今後の見通し

なお、四半期報告書の提出期限延長に関する承認申請書につきましては、関東財務局より承認が下りましたら、速やかにお知らせいたします。

以 上